



建交労鉄道

岩手地方本部

2026年3月16日
NO 199号
発行責任者
須藤清成

- 2026年7月1日・推計
- 社員数…5398人
- 平均年齢…37・6
- 平均基準内賃金…289764円

■いま必要なのは“人への投資”
社員は休みも十分に取れない中、日夜安全・安定輸送を支えています。人材確保・定着のためには、賃金を含めた待遇改善が不可欠です。

「再検討して再回答を求める」と申し入れましたが、会社は応じず、組合は持ち帰り検討しました。

- 物価高騰の中、4100円では生活改善に程遠い
- 会社は「物価上昇はベアで対応」と言っていたのに実態が伴わない
- 低賃金が続き、若手社員の離職が増加
- 他社は賃上げで人材確保を進めているのに、「賃上げは遅れ
- 「人材はコストではなく資産」という考えに立ち返るべき
- 生産性向上は社員ではなく会社が取り組むべき課題

「組合の主張」
「物価高で生活は限界。社員の生活改善にならない！」
組合は強く反発し、次の点を指摘しました。

■会社回答…ベア4100円の“低額”提示「賃物は26春闘で、組合の賃上げ要求に対しベアスアップ(ベア)4100円」という低額回答を提示しました。

26春闘「ベア」

物価高の中、賃物の回答がベア4100円
「賃上げは遅いから…」組合が強く抗議

お知らせ

「思想・信条を超えて国民監視の『スパイ防止法』に反対する
岩手県民の会」発足会

日時 4月4日(土) 13時30分
場所 勤労福祉会館 5階大ホール

「震災15年のつどい」
日時 4月18日(日) 13時
場所 大船渡市 RIAS(リアス)ホール
内容 記念講演など (詳細は未定)

第97回メーデー岩手県中央集会
日時 5月1日
場所 岩手公園広場
内容 集会後、デモ行進

憲法集会「こいわて」
日時 5月3日(金・祝) 10時
場所 岩手教育会館 多目的ホール

講師 アーサー・ビナード氏

人間が健康に生きて行く為に 187

「なんとなく不調」の正体——酵素不足かもしれません
栄養をしっかり摂っているのに、胸やけ、胃もたれ、頭痛、手足の冷えなどの不調が続く…そんな方は「酵素不足」が原因かもしれません。

私たちの体は、酵素の働きによって食べ物を消化し、栄養素を吸収・代謝することで生命活動を維持しています。酵素は体内で作られるだけでなく、生の食材からも摂取することが可能です。しかし、加熱調理された料理や加工食品など、酵素が含まれていない食品ばかりを摂っていると、体内の酵素はどんどん消費してしまいます。そのため、酵素を減らさない生活習慣や、普段の食事に酵素を取り入れる工夫が必要です。

◆酵素の力を食事で補うことの大切さ
酵素は体内に存在し、消化・吸収・呼吸・細胞やホルモンの生成など、あらゆる生命活動に関わっています。特に、消化・吸収・代謝を担う酵素は、健康を支えるカギとなります。酵素（消化酵素）がなければ、どれだけ栄養を摂っても体はそれをうまく吸収できません。また、吸収された栄養素からエネルギーを生み出したり、細胞や器官、筋肉の修復、免疫やホルモンのバランス調整を行うには、酵素（代謝酵素）が不可欠です。

◆酵素の量には限りがある？
私たちの体内には、生まれたときから「潜在酵素」と呼ばれる酵素が存在し、必要に応じて消化酵素や代謝酵素として働きます。しかし、この潜在酵素の量は一生のうちに作られる量がほぼ決まっており、年齢とともに減少していきます。さらに、加齢だけでなく、農薬や食品添加物などの化学物質の摂取、過食、ストレスなどによっても酵素は消費されており、健康的な生活を送るためには、植物由来の「植物酵素」を積極的に摂取し、体内の酵素をなるべく減らさないことが大切です。

◆健康のカギは「腸」にあり
私たちの体を構成する細胞は、すべて腸から吸収された栄養素によって作られています。つまり、体を元気に保つには、まず腸を元気にすることが重要です。腸の働きを高めるには、植物酵素をはじめ、ビタミンやミネラルが豊富な生野菜や果物、発酵食品を積極的に摂ることが効果的です。

◆和食は理想的な酵素食
酵素をしっかり摂れる食文化といえば、やはり和食。魚介類や野菜を生で食べる習慣があり、漬物や味噌、納豆などの発酵食品も豊富です。和食は、酵素を取り入れるのに最適な食事スタイルといえるでしょう。

◆酵素を守る生活習慣も大切
酵素は睡眠中に作られるため、睡眠不足や質の悪い睡眠は酵素の生成を妨げます。また、ストレスも酵素を消耗させる原因に。しっかりと休息を取り、心身のバランスを整えることも、酵素を守るために欠かせません。

原発ゼロ NO177

浜岡原発で「地震の揺れを小さく見せたい」が発覚

◆原発の安全に関わる超重要データなどの大問題。再稼働はほぼ遠のき、電力会社への信頼もガタ落ち。
中部電力・浜岡原発でデータ操作疑惑
「想定地震の揺れを過小評価、再稼働はさらに困難に」
◆何が問題になっ

◆発覚の経緯
2025年2月…外部から「不正がある」との情報提供。中部電力が調査し、同年12月に原子力規制庁へ不正行為を報告、規制委員会は浜岡原発の審査を中断。中部電力は今回、社内調査の結果として

◆中部電力の説明と謝罪
林欣吾社長は記者会見で、「原子力事業の根幹を揺るがしかねない事実。極めて深刻に受け止めている」と謝罪。また、弁護士3人による第三者委員会を設置し、事実関係と原因を調査するとした。林社長は電気事業連合会の会長も務め

◆規制側の反応
原子力規制庁の担当者は、「基準地震動は耐震性確保の最重要項目」と強調。規制委員会は、2月7日の定例会合で対応を協議する予定。経産省は中部電力に対し、4月6日まで不正の経緯・原因・

◆背景…浜岡原発はなぜ厳しく見られるのか
浜岡原発は、東海地震の想定震源域の真上に位置する。過去にも安全対策工事で不正が発覚(2025年)という事情があり、もともと再稼働へのハードルが高い。今回の不正疑惑で、再稼働はさらに遠のいたと見られる。

◆補足…基準地震動とは
原発が耐えるべき「最大の揺れ」を示す数値で、耐震設計の根幹となる。周辺の活断層の地震の未知の断層による地震。地盤特性などを総合的に考慮して決める。揺れの大きさはガル(Gal)という加速度の単位で表す。

その結果、原発が想定すべき最大の揺れ(基準地震動)が本来より小さく見積もられた可能性がある。

安心して暮らせる賃金を求めて

3.5中央行動

建交労2026年春闘の山場 で中央行動

◆全国130名が結集し、賃上げ実現へ決意固める

◆全国から仲間が東京に集結

建交労は3月5日、2026年春闘の最大の山場と位置づける「建交労3.5中央行動」を東京都内で展開した。午前の決起集会には全国各地から約130名が参加し、春闘勝利に向けた意思統一が図られた。



建交労中央行動

◆各分会・県本部が現場の声をもとに決意表明

学童部会、大阪本部、トラック部会、長野本部、ダンブ支部など、各分会・県本部の代表が現場の実情を踏まえた決意表明を実施。

また、厚生労働大臣宛ての個人署名が全国から多数寄せられたことが報告され、運動の広がりが共有された。

◆全労連からの連帯あいさつ

続いて、全労連の黒澤幸一事務局長が連帯のあいさつを行い、春闘全体の前進に向けた支援を表明した。

◆団結カンパロウ

三唱で午前の集会を締めくくりに、川路副委員長の首頭



建交労鉄道部会



国会に向けた請願デモ

◆午後は全労連集会へ合流
午後は日比谷公園周辺で開か

れた全労連の春闘決起集会に合流し、国を三唱し、参加者は午後の行動へと向かった。

北海道に3つの要請

北海道鉄道本部 竹田吉宏

北海道交運共闘が運輸局と意見交換北海道交運共闘は2月20日、北海道運輸局との交渉で、「北海道道に開く3点を要請した。」
内容は
1. 貨物鉄道強化のための鉄道維持
2. 新幹線札幌延伸に伴う函館本線の有効活用
3. 新幹線延伸の遅れによる地域負担の軽減策の3項目。
意見交換では

また鉄道本部からは、1月下旬の大雪による列車遅延・運休を受け、高架区間の除排雪を国交省内で連携して効率化する仕組みづくりを提

案。高速道路や鉄道の高架から下ろした雪を開発局が運搬する「スクランブル除雪」のような協力体制を本省に上申するよう求めた。

【26春闘・ダイヤ改正ニュース】 当局回答は“現状維持”ばかり

現場の声・安全対策・要員確保の要求がほぼ反映されず
建交労東北貨物協議会は2月18日、2026年3月ダイヤ改正に関する団体交渉を実施しました。

しかし、会社側の回答は多くが「現行どおり」「指導していただく」とどまり、現場の建設的な意見がほとんど取り入れられない内容となりました。

NSで彼を「本物の負け犬だ」と攻撃した。トランプの持つているカードはそんなもんだろ。

2月11日の岩手日報。一面に県内で働く30代のミヤンマー人女性の声が載っていた。「私は日本のルールを守り、迷惑をかけないよう、邪魔にならないよう気をつけています」と。米国だけでは

つばやき ごりんさんころ

（白人）が先住民（インディアン）の命と土地を奪い現存している白人自身）ルニヤ州などもメキシコから奪った

た。移民は出ていくというなら、トランプ（そう叫んでいる白人自身）が出ていかなければならない。彼女の切ない声は、その

五輪三考。 細川忠雄

いのち NO.1 心友通信 井上 駿

高市さんは危ない
高市さんは言った
有事があれば自衛隊を動かすと
有事とは何か
台湾に中国が武力侵攻する
トランプ米大統領は米軍より先に
日本の自衛隊を使う
日本の自衛隊は米軍の指揮下にある
日本は断れない
高市さんは進んでやろうとするかもしれない
そうならば中国は日本に反撃する
多くの死者が出るだろう
自衛隊を動かしてはいけない
平和憲法の出番だ

将来の要員確保が不安
●年休・特休の大量買上げ
特休買上げが常態化。組合「低賃金ゆえ買上げ頼みの現状は問題」

●2. 安全対策
●長時間勤務・抑止・設備不備：現場の危険は解消されず
●抑止時は8時間を目処に交代を
回答は「指導する」。

●3. その他の職場
●黒磯駅のガラス被
旅客会社と行政で検討中。
組合「通路の糞害が深刻。衛生面で問題」

●4. 盛岡（夕）派
●当直を泊まり勤務に
会社は「現行どおり」。

●5. 総括：現場の声が届かない“ゼロ回答”に近い内容
今回のダイヤ改正交渉では、●安全対策の強化●要員不足の解消●長時間勤務の是正●職場環境の改善といった現場の切実な要求に対し、会社側はほとんど踏み込んだ改善策を示しませんでした。

「安全・安定輸送」を掲げながら、現場の負担は増える一方、建設的な意見が取り入れられない姿勢に強い懸念が残る内容です。